2026年11月18日

各　位

フィジカルAI事業の推進に向け、ロボット展示・実証拠点「IMOロボティクスLAB」を開設

～多様なヒューマノイドロボットや各種ロボットの実機展示を通じ、デモンストレーションから導入検討・実証までを支援～

株式会社イメージワン（以下「当社」）は、フィジカルAIロボット分野（以下「フィジカルAI」）における事業展開の一環として、株式会社ビッグハンズ（東京都千代田区、代表取締役 潘若衛、以下「ビッグハンズ社」）と共同で、当社本社（東京都品川区大崎）にロボット展示拠点「IMOロボティクスLAB（イメージワンロボティクスラボ）」を開設いたしましたので、お知らせいたします。



本LABは、フィジカルAIの社会実装に向けた取り組みを推進する拠点として、ヒューマノイドロボットを中心に、ビッグハンズ社が取り扱う各種ロボット製品の実機展示やデモンストレーションを行う拠点となります。Galbot社（正式社名：北京銀河通用機器人股份有限公司、所在地：中国）が展開しているロボットを主軸としながら、今後は多様なメーカーのヒューマノイドロボットや、バイオニックロボット、四足歩行ロボット、スキルハンドなど、幅広いロボットを対象とした展示・実証環境の整備を段階的に進めてまいります。

また、実機展示に加え、医療施設における業務を中心としたPoC（概念実証）、導入に向けた提案、技

術者育成、セミナー等の活動を展開し、ロボット技術と実際の利用現場をつなぐことで、フィジカルAI関連事業の拡大を目指します。

1.　開設の背景及び目的

近年、AI技術の進展に伴い、デジタル空間にとどまらず、ロボットなどの物理的な機械を通じて現実世界で認識・判断・動作する「フィジカルAI」への関心が高まっています。特にヒューマノイドロボットをはじめとするロボット技術は、製造、物流、サービス、医療・介護など、さまざまな分野での活用が期待されています。

当社は、こうした市場の動向を踏まえ、フィジカルAI関連事業を今後の事業展開における重要な領域の一つと位置付けています。

2026年９月29日には、国内におけるフィジカルAI分野の普及・事業展開を目的として、ビッグハンズ社との業務提携に関する基本合意を公表いたしました。その後、具体的な協業の取り組みを進める中で、このたび「IMOロボティクスLAB」の共同運営に関する覚書を締結することとなりました。

本LABの開設は、両社の協業を具体的な事業活動につなげる取り組みの一つです。ロボットの実機を展示し、その動作や活用可能性を実際に確認できる環境を整えることで、企業や各種団体などとの接点を広げ、ロボットの導入検討や実証、さらには具体的な案件の創出につなげることを目的としています。

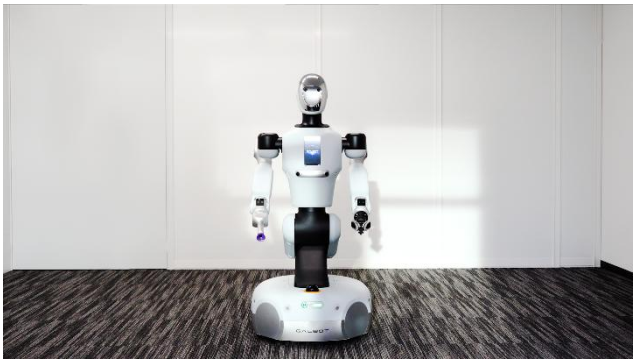
2.　「IMOロボティクスLAB」の全容・特徴

IMOロボティクスLABは、ロボットの実機展示やデモンストレーションに加え、導入に向けた検証・提案、技術者育成、各種イベント等を行うことを想定した展示・実証拠点です。ロボットを実際に見て、動作や機能を確認する機会を提供するとともに、顧客のニーズに応じた活用方法の検討や実証につなげることを目指しています。

（１）開設時に展示するGalbot社製ヒューマノイドロボット「Galbot G1」

開設時には、中国のロボット開発企業Galbot社が開発したヒューマノイドロボット「Galbot G1」（以下「G1」）の実機を展示し、来訪者に向けたデモンストレーションを実施する予定です。

G1は、全方向への移動が可能な車輪型の移動機構と両腕を備えた人型ロボットです。周囲の環境を認識するセンサーや、Galbot社が独自開発した具身知能に関するAI技術などを組み合わせ、現実世界における様々な作業への対応を目指して開発されています。





▶イメージワン公式YouTubeにて動画を公開いたしました。
https://youtu.be/WKMkd8v0wB4

【「Galbot G1」の詳細】

・身長1,730mm
・本体重量 約92.5kg
・フル充電時の連続稼働時間10時間
・水平リーチ1.9m、可搬重量10kg
・作業高さ0～2.4mに対応（開発元公式情報）

Galbot社は、具身知能を中核とする汎用ロボットの開発を手掛ける中国のロボット企業です。独自のAIモデルやロボット技術の開発を進め、G1やS1などのヒューマノイドロボットを展開しています。

当社は、ビッグハンズ社との協業を通じてGalbot社製品をフィジカルAI事業の主軸の一つとして取り扱い、国内における販売や活用機会の創出を進めてまいります。

（2）多様なロボットを対象とした展示環境

本LABでは、Galbot社製を主軸としながら、ビッグハンズ社が取り扱う各種ヒューマノイドロボット及びその他のロボット製品も展示・実証の対象とします。

ヒューマノイドロボットに加え、バイオニックロボット、四足歩行ロボット、スキルハンドなど、異なる形態や機能を持つロボットを対象とすることで、幅広いロボット技術に触れられる環境の整備を目指します。

（3）展示にとどまらない実証・活用支援機能

本LABでは、実機展示やデモンストレーションを通じてロボットの機能や動作を確認できる機会を提供するほか、特に医療施設における業務を中心に企業や各種団体のニーズに応じたPoCや技術検証を企画・実施することを想定しています。

医療施設における業務内容や現場のニーズを踏まえ、ロボットによる業務支援の可能性や導入に向けた課題を検証するとともに、顧客の課題や要望に応じたロボット製品の紹介、活用方法の提案、導入に向けた検討支援などを行い、展示・実証から具体的な商談や販売につなげることを目指します。

さらに、技術者向けトレーニングや教育機関との連携、ロボット技術に関するセミナー・説明会・展示イベントなども展開し、ロボット技術への理解促進と活用機会の創出を図ります。



※写真はLABのイメージです。

3.　「IMOロボティクスLAB」の運営体制

本LABは、当社本社内に設置し、当社とビッグハンズ社がそれぞれの強みを生かして共同運営します。

BIG HANDZ CO.,LTD.	IMAGEone
ロボット製品の提供、専門技術者による技術支援、製品・技術情報の提供、デモンストレーションやPoCの企画・実施、ロボットの販売・保守対応等	LAB施設の提供・運営調整、マーケティング、顧客開拓、ロボットの販売、LAB及び活動成果に関する広報、来訪者対応・イベント運営等

ビッグハンズ社が有するロボット製品に関する知見や技術支援体制と、当社の施設運営、マーケティング、顧客開拓機能を組み合わせることで、ロボットの展示にとどまらず、具体的な導入や活用につながる取り組みを推進してまいります。

4.　今後の展開

今後は、「IMOロボティクスLAB」を当社グループにおけるフィジカルAI事業の推進拠点として位置付け、展示スペースやロボットのラインアップを段階的に拡充してまいります。
具体的には、Galbot社製品を中心としたヒューマノイドロボットに加え、ビッグハンズ社が取り扱う多様なメーカーのヒューマノイドロボット及びその他のロボット製品についても、取り扱いや展示・実証の対象として検討してまいります。

また、当社がこれまで医療ソリューション事業を通じて培ってきた医療機関との接点や知見を生かし、医療施設における業務を中心としたPoCや技術検証を推進してまいります。医療現場におけるロボットの活用可能性を検証し、その成果を具体的な導入提案や事業展開につなげることで、当社ならではのフィジカルAI事業の構築を目指します。
当社は、本LABを通じてロボット技術と顧客ニーズを結び付け、フィジカルAIの社会実装に向けた取り組みを推進するとともに、ロボット関連製品の販売や導入支援を含む事業機会の拡大を目指してまいります。

【株式会社ビッグハンズ　会社概要】

所在地：東京都千代田区麹町４－４－４　ACN麹町ビル６階
代表者：代表取締役　潘 若衛
事業内容：情報処理・SIサービス、データソリューション、インフラ、ヘルスケア、物流、フィジカルAI等の事業
会社URL：https://www.bighandz.co.jp/

【株式会社イメージワン　会社概要】

会社名：株式会社イメージワン

所在地：東京都品川区大崎1-6-3

代表者：代表取締役社長 川倉 歩

事業内容：ヘルスケアソリューション事業、地球環境ソリューション事業

公式サイト：https://www.imageone.co.jp/

IR note：https://note.com/imageone_2667/all

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社イメージワン

https://www.imageone.co.jp/inquiry/general/

以　上